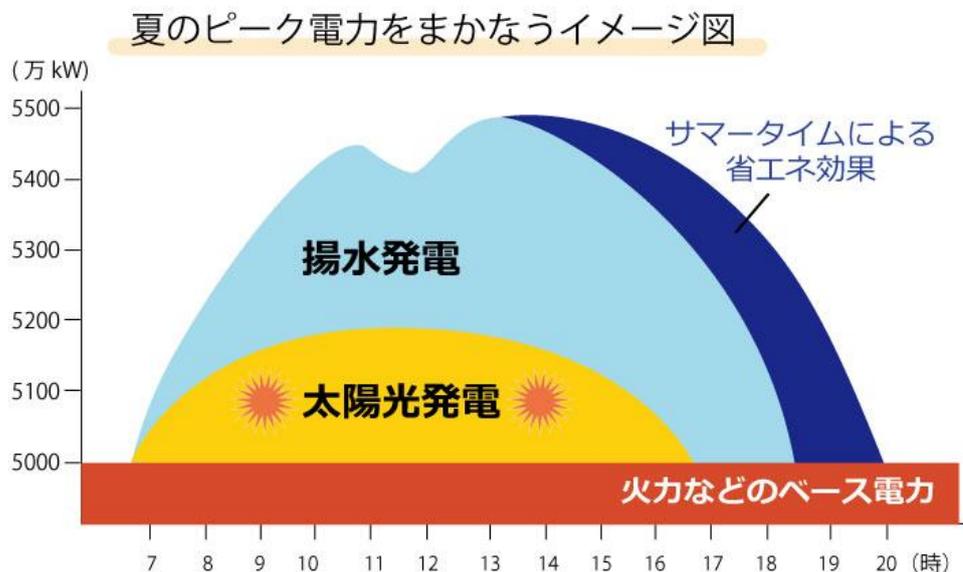


夏の電力危機を乗り越えるための緊急提案
(太陽光発電を 100 万 kW 増やそう!)

2011 年 3 月 26 日
山梨自然エネルギー発電(株)



東京電力エリア内ではこの夏の電力が不足すると危惧されています。その危機を乗り越えるために 100 万 kW の太陽光発電を設置しようという提案です。今年の 4 月～7 月までに設置を完了する設備の目標です。

夏のピーク電力は主に揚水発電で賄われています。揚水発電とは、夜間の消費の少ない時間帯に、水力発電所の上流のダムに水をくみ上げておき、その水を利用して昼間の電力消費を補います。ただし供給出来る電力量には限りがあります。長時間発電することは出来ません。そこで太陽光発電とサマータイムの省エネ効果を組み合わせることにより、効果的に揚水発電を利用することが出来ます。揚水発電所ダムに水をくみ上げるために、夜間の電力消費を抑えることも重要です。イメージ図を参照してください。

東電エリア内に太陽光発電を増やすための緊急提案。目標 100 万 kW!

- ① 太陽光発電設置手続きの簡素化。申込みから契約まで 2 週間とする。
- ② 基本料金の割引制度。6kW 以上の太陽光発電を設置する場合でも基本料金を 60A1260 円までとする。(ナイト 10,8,電化上手)
- ③ 住宅用の補助金制度の規制緩和。J-PEC の非認証品も対象とする。
- ④ 48 円の売電価格の継続。6 月末申込み、7 月末設置完了分まで対象とする。
- ⑤ 農地法の規制緩和。農地太陽光発電の設置を認める。1 契約 20kW 未満までを対象とする。
- ⑥ 夜間電力を減らすための LED 照明の普及促進。ライトダウンの推進。